

# はっけん! わがやの かいじんじゆうめんそう

きいてください。ぼくのいえにはかいじんがいます。かぞえてみたら、ひやくめんそうまではいかなかったけれど、いろいろなかおがありました。たとえば、いえにいるときのふつうのかお、ぼくたちのがつこうにいくときのそとむけのかお、かっているむしやとりたちのおせわをするしゅういんさんのかお、おりよりするときのコックさんのかお、しゆくだいをいっしょにみてるせんせいのかお、がつきをえんそうするときのしんけんなかお、ぼくたちといっしょにトランプやしようぎ、スポーツをするときのとちもだちのかお、ぼくのころをよむまほうつかいのかお、ちからもちで、いえのいろんなものをなおすだいきんのかお、もうつかれたというおばあちゃんのかおなどです。わすれていけなかったのがありました。ぼくがかいじんとしたやくそくをまもらなかったときには、かいじんはまるできょうりゆうのようにガオーとひをふきます。どうしていけなかったのかどうするのかをえんえんときかされます。そんなとき、

なとき、ぼくはかいじんにおてがみをかきます。そうするとたいていかいけつします。ね、おもしろいかいじんでしょう。そんなかいじんにもよわいところがありました。ときどき、きをうしなつてたおれたり、むねがいたいとねこんだりしています。かいじんはうまれたときはからだがよくてにゆういんしていたそうです。どれがほんとうのかおなのかなおもうときがあります。こわいところもあるかいじんだけれど、ぼくがいちばんすきなかおは、わらっているときのかおです。かいじんにはいつもいつもいつでもわらっていてほしいので、ぼくはおもしろいことをしてわらわせるようにしています。さいきんはかいじんとあんごうのてがみのやりとりをしています。あんごうをかんがえたりといたりするのはむずかしいけれど、とてもたのしいです。かいじん、じゃなかった、おかあさん、いつもおうえんしてくれてありがとう。ずっとずっとだいすきだよ。ながいきしてね。

下平博史  
しもだいら ひろふみ